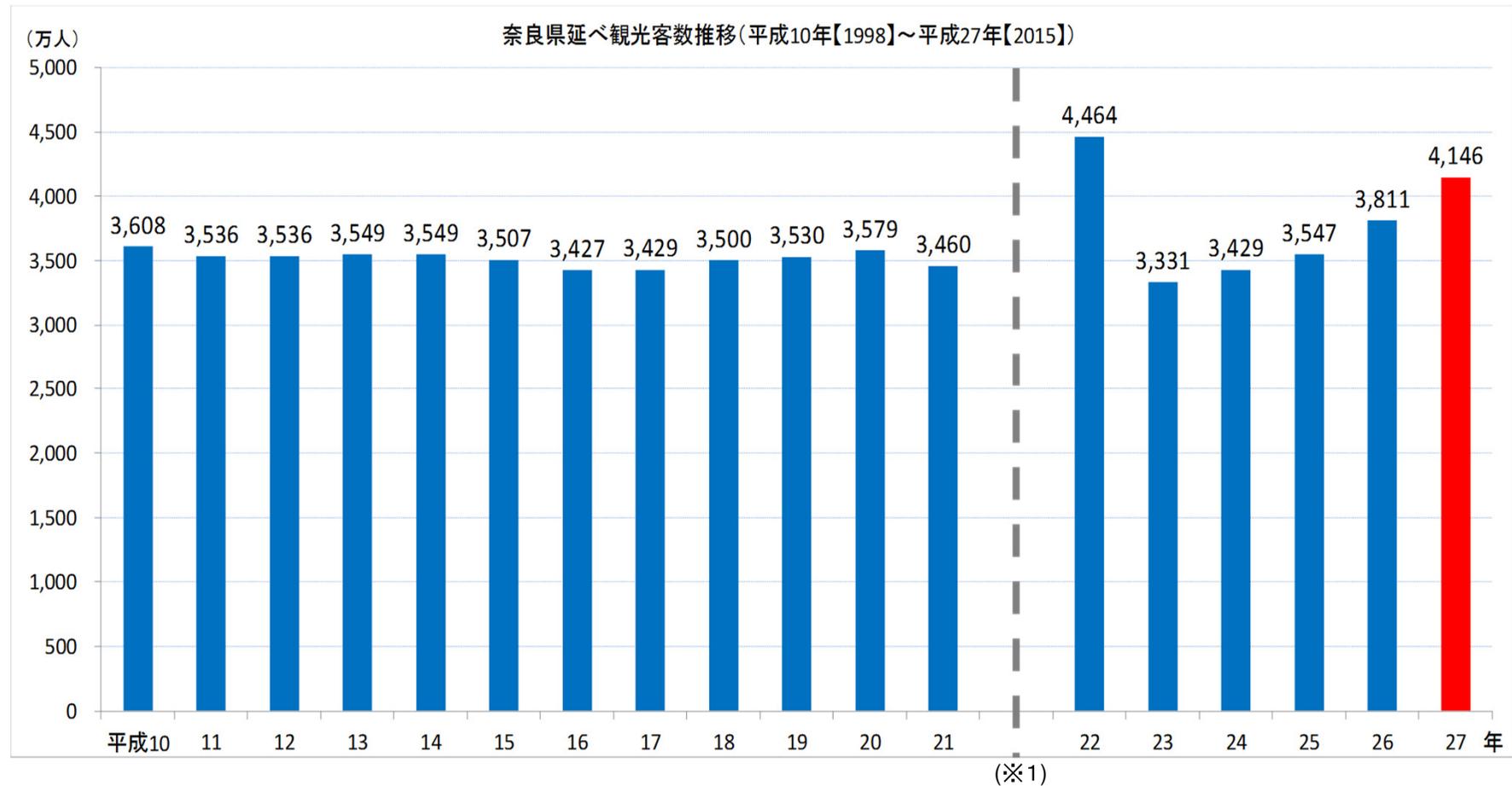


# 奈良県観光客動態調査報告書

平成27年(1月～12月)

奈良県観光局ならの観光力向上課

# 1. 奈良県への観光客数(年別)

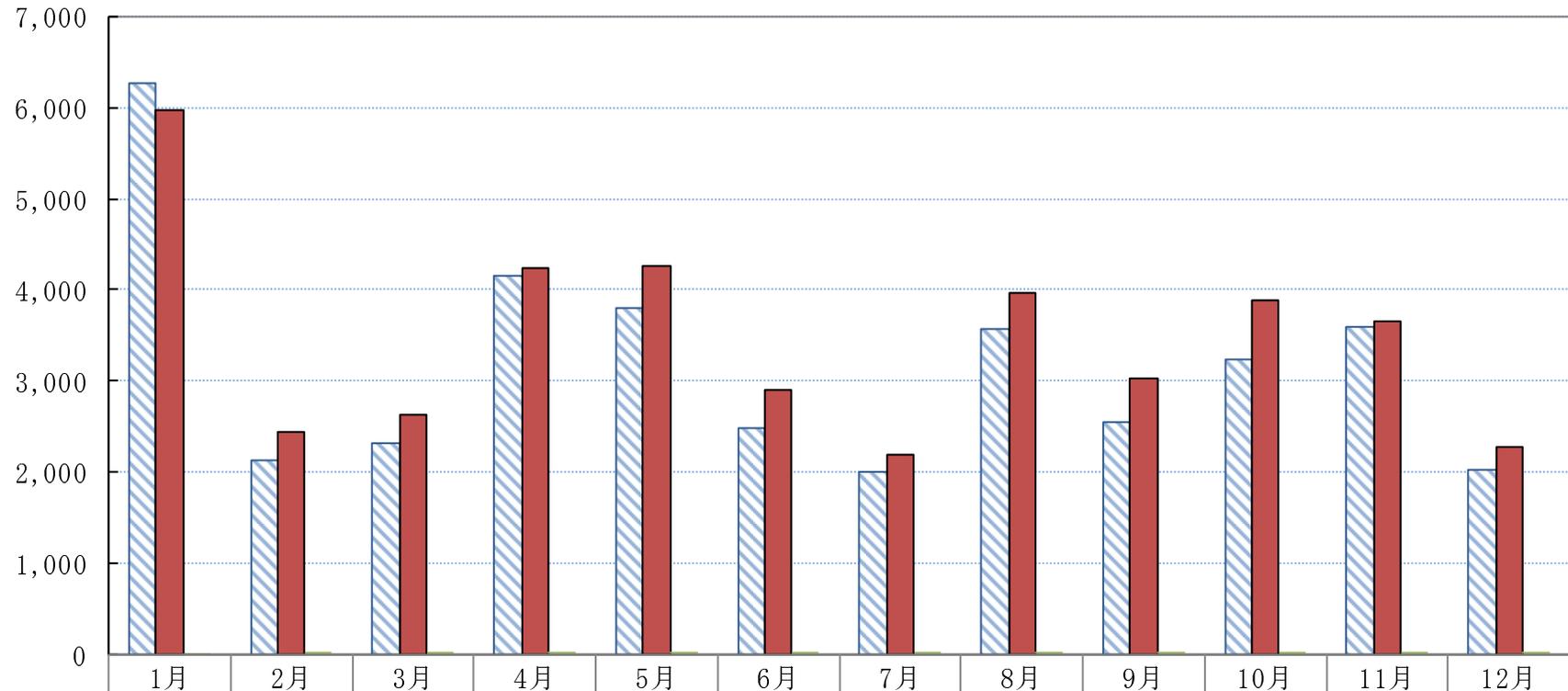


平成27年1月～12月の奈良県観光客数は約4,146万人で、前年(平成26年)比335万人、8.8%増加。

※1 平成22年4月から観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に準拠し推計。それまでの各県独自の推計方法による調査から、観光地点の定義、調査方法等について全国統一の基準を採用し、他府県との比較が可能となった。従前は、地域ごとに入込客数の伸び率を算出し前年の数値に乘じる方法だったが、現在は観光地点やイベントごとの入込客数を調査、集計する方法に変更。

## 2. 奈良県への観光客数(月別)

(千人)



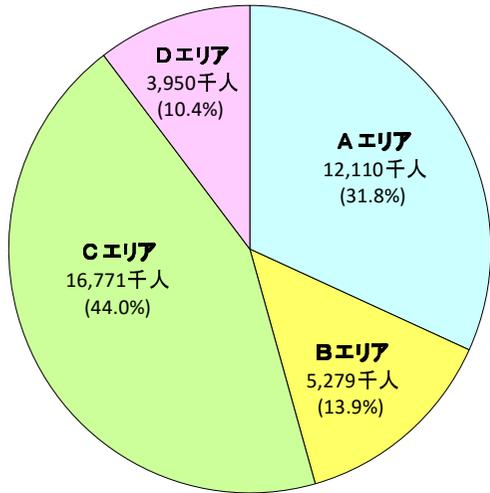
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成26年	6,273	2,127	2,317	4,157	3,802	2,479	2,003	3,574	2,540	3,239	3,583	2,016
平成27年	5,977	2,439	2,625	4,240	4,263	2,893	2,191	3,973	3,036	3,887	3,652	2,285
対前年比	-4.7%	14.7%	13.3%	2.0%	12.1%	16.7%	9.4%	11.2%	19.5%	20.0%	1.9%	13.3%

※ 千人未満は四捨五入しています。

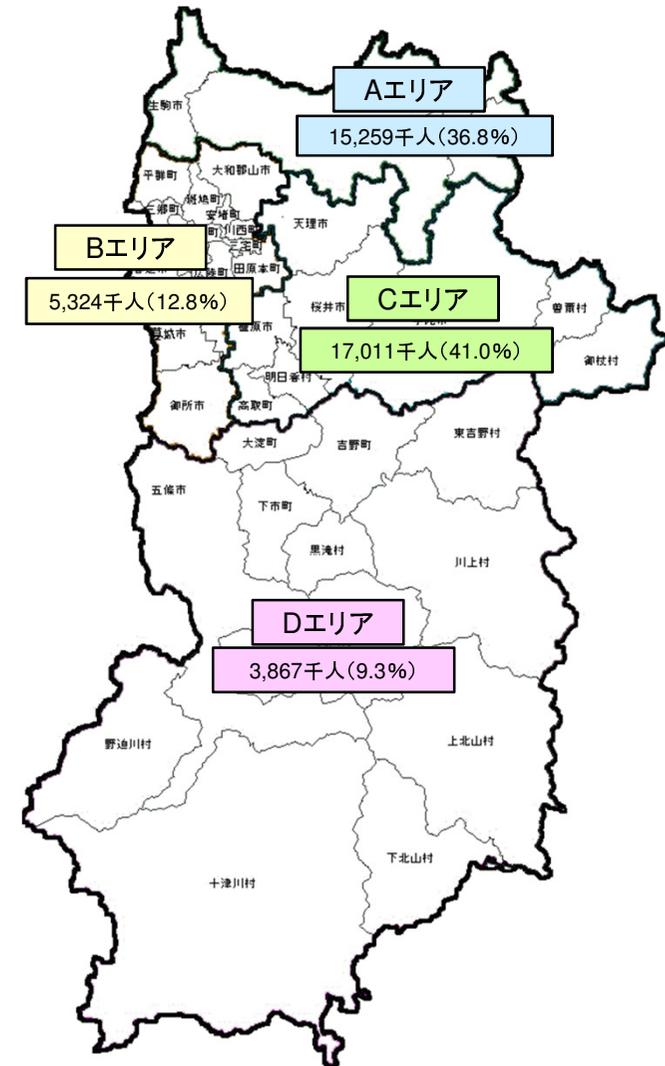
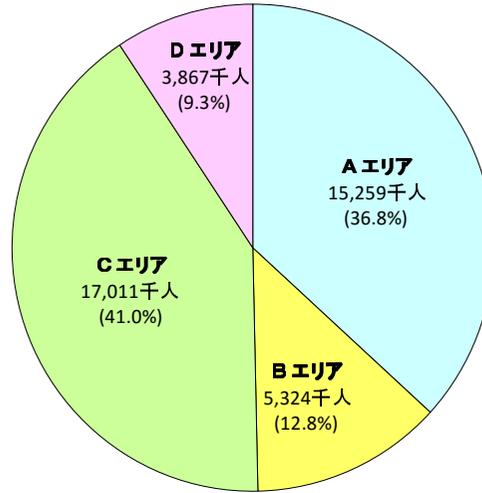
1月は元日からの積雪で初詣の入込が影響を受け前年より減少したが、その他の月では外国人観光客の増加等により前年より増加している。

### 3. 奈良県への観光客数(エリア別)

平成26年



平成27年



エリア	市町村
A (県北部)	奈良市、生駒市、山添村
B (県西部)	大和高田市、大和郡山市、御所市、香芝市、葛城市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町
C (県東部)	天理市、橿原市、桜井市、宇陀市、曽爾村、御杖村、高取町、明日香村
D (県南部)	五條市、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村

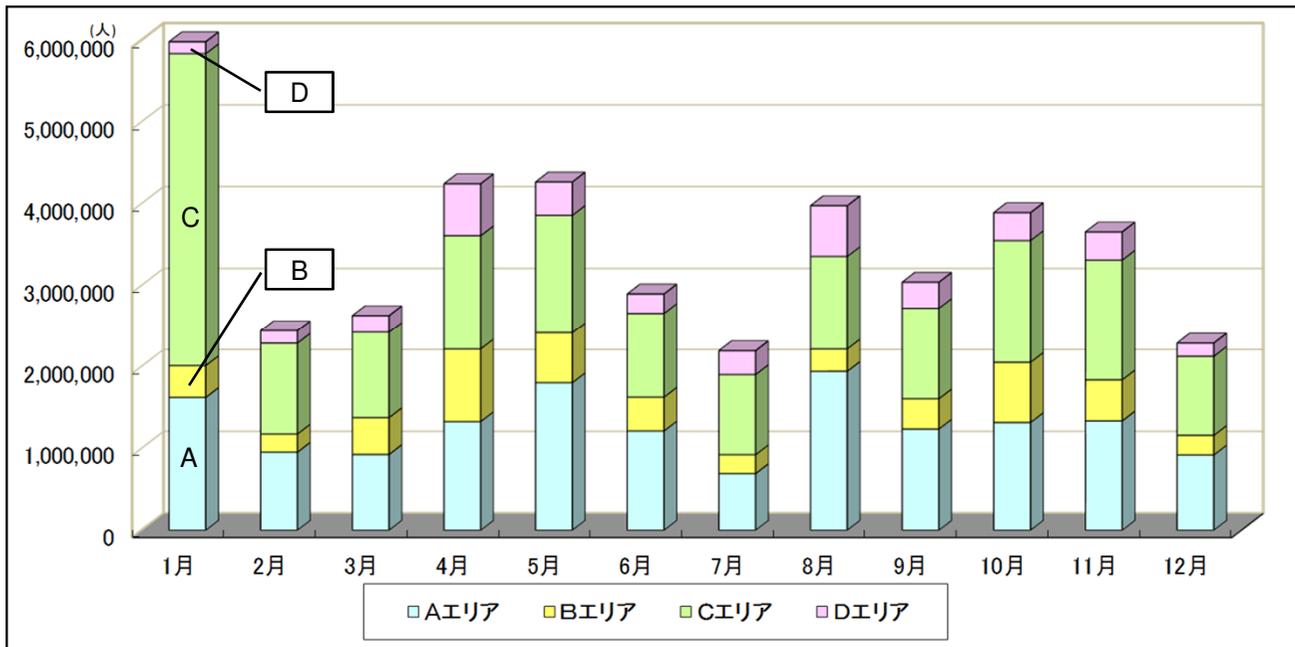
## 4. エリア別観光客数と主な増減理由

単位：人

	平成26年	平成27年	前年比	主な増減要因
A エリア	12,110,000	15,259,000	26.0%	<p>【増加】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外プロモーション効果による外国人訪問客数の増加。</li> <li>・春日大社の第六十次式年造替のご奉祝行事による賑わい。</li> <li>・木下大サーカスの開催（2/21～4/13）。</li> </ul> <p>【減少】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月は元日の午後からの雪など厳しい寒さにより初詣の入込が減少。</li> </ul>
B エリア	5,279,000	5,324,000	0.9%	<p>【増加】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・馬見丘陵公園のイベントが好調。 チュールリップフェア（4月）、花菖蒲まつり（6月）、ひまわりウィーク（8月）、フラワーフェスタ（10月）、クリスマスウィーク（12月） など</li> <li>・市町村のイベント。 へぐり時代祭り（4月）、リーベル鉄道フェスティバル（8月）、ゆめフェスタin葛城（11月）、王寺ミルキークエイ（11月） など</li> </ul> <p>【減少】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催期間中に天候に恵まれなかったイベント。 大和郡山市お城まつり（3～4月）、広陵町かぐや姫まつり（9月） など</li> <li>・社寺の入込の減少。</li> </ul>
C エリア	16,771,000	17,011,000	1.4%	<p>【増加】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村のプロモーション効果によりメディアに取り上げられる地点も多く、9月、10月の行楽シーズンは週末の天候に恵まれたことで賑わった。 橿原神宮（神武天皇2600年大祭）、菅原高原 など</li> </ul> <p>【減少】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月は元日の午後からの雪など厳しい寒さにより初詣の入込が減少。</li> <li>・開催期間中に天候に恵まれなかったイベント。 宇陀市又兵衛桜祭り（3～4月） など</li> </ul>
D エリア	3,950,000	3,867,000	-2.1%	<p>【増加】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月はキャンプやバーベキュー、アユ釣りで賑わいをみせた。</li> <li>・9月、10月はテレビ番組で紹介された天川村や大台ヶ原などで入込が増加した。</li> </ul> <p>【減少】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天候による影響。 吉野山の桜の見頃の期間中天候に恵まれなかった。 7月の台風11号による影響。（国道168号の通行止め、大淀町花火大会の中止（7月） など）</li> </ul>

※ 千人未満は四捨五入しています。

## 5. エリア別・月別観光客数



エリア	市町村
A	奈良市、生駒市、山添村
B	大和高田市、大和郡山市、御所市、香芝市、葛城市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町
C	天理市、橿原市、桜井市、宇陀市、曾爾村、御杖村、高取町、明日香村
D	五條市、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村

		(単位:人)												
月	エリア	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
	A	1,620,000	952,000	924,000	1,325,000	1,800,000	1,210,000	691,000	1,939,000	1,234,000	1,314,000	1,333,000	918,000	15,259,000
	B	389,000	221,000	450,000	888,000	613,000	413,000	230,000	274,000	370,000	735,000	502,000	239,000	5,324,000
	C	3,823,000	1,111,000	1,046,000	1,393,000	1,442,000	1,030,000	978,000	1,139,000	1,113,000	1,498,000	1,473,000	965,000	17,011,000
	D	145,000	155,000	206,000	635,000	408,000	240,000	291,000	621,000	320,000	341,000	344,000	162,000	3,867,000
	計	5,977,000	2,439,000	2,625,000	4,240,000	4,263,000	2,893,000	2,191,000	3,973,000	3,036,000	3,887,000	3,652,000	2,285,000	41,462,000

※ 千人未満を四捨五入しているため、内訳と計は一致しません。

外国人観光客の増加、春日大社の第六十次式年造替の奉祝行事などで、Aエリアで大幅な増加となっている。

## 6. 観光入込客数(実人数)及び観光消費額の推計結果

(観光庁「共通基準による観光入込客統計調査」に基づく)

### (1) 観光入込客数(実人数)

(単位:千人回)

	計	うち宿泊客	うち日帰り客
平成27年	22,805	2,245	20,560
平成26年	20,936	2,000	18,936
対前年比	8.9%	12.3%	8.6%

### (2) 1人あたり観光消費額

(単位:円)

	宿泊客	日帰り客
平成27年	25,683	4,346
平成26年	25,966	3,871
対前年比	-1.1%	12.3%

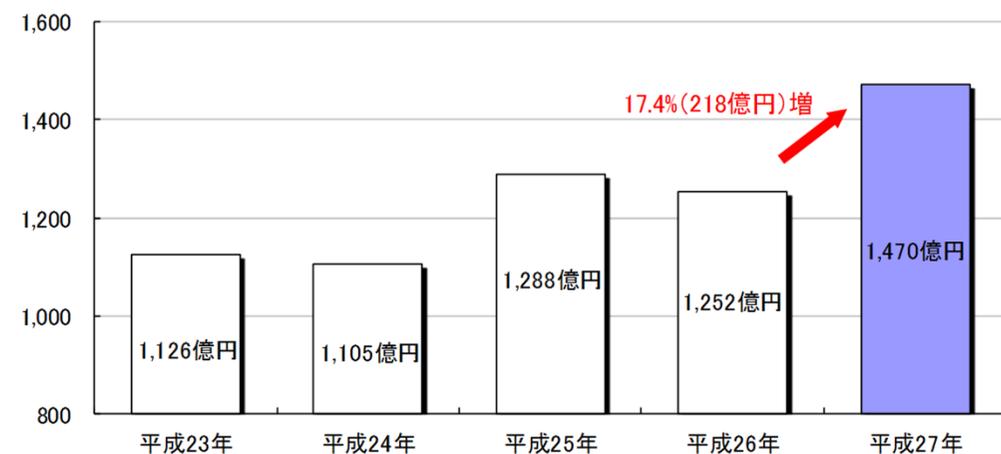
### (3) 観光消費額の推計結果

(単位:百万円)

	計	うち宿泊客	うち日帰り客
平成27年	147,023	57,659	89,364
平成26年	125,232	51,931	73,301
対前年比	17.4%	11.0%	21.9%

(億円)

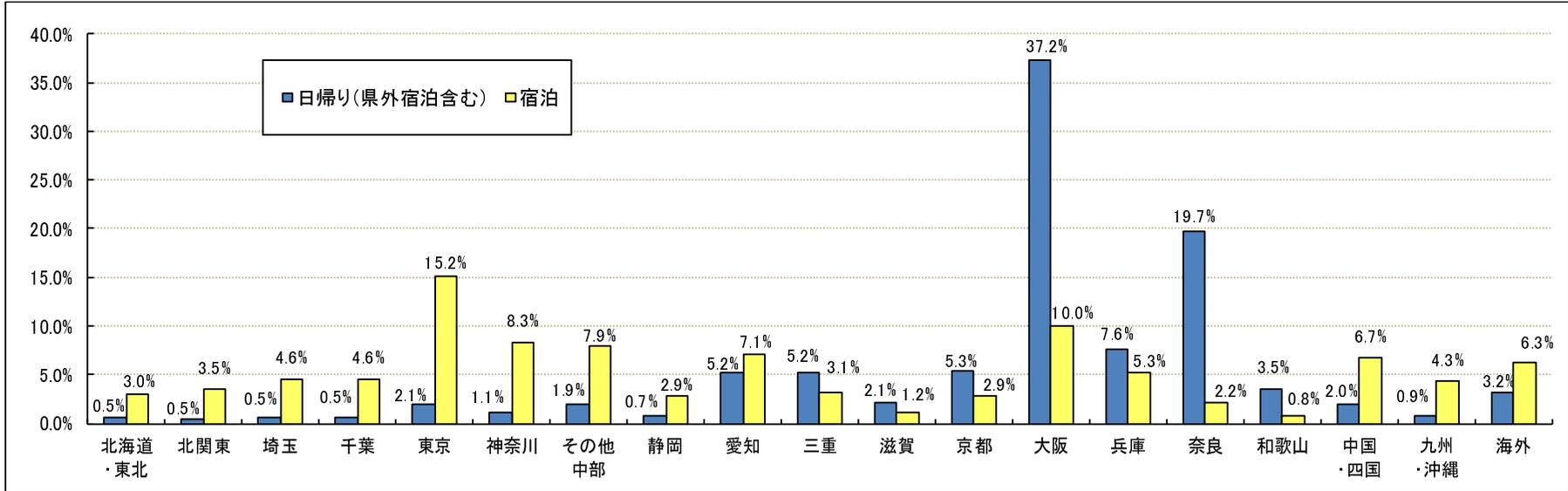
観光消費額の推移



- ・観光入込客数の実人数は2,281万人(前年比187万人、8.9%増加)  
 宿泊客:225万人(同25万人、12.3%増加)、日帰り客:2,056万人(同162万人、8.6%増加)
- ・観光消費額単価は、宿泊客が25,683円(283円、1.1%減少)、日帰り客が4,346円(475円、12.3%増加)
- ・観光消費額は約1,470億円(同218億円、17.4%増加)

# 7. サンプル調査に基づく来訪者の発地

(平成27年1月～12月調査 実サンプル数 4,239件)



区分	北海道・東北	北関東	東京圏					中部圏					近畿圏					中国・四国	九州・沖縄	海外		
			埼玉	千葉	東京	神奈川	小計	その他中部	静岡	愛知	三重	小計	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良				和歌山	小計
日帰り	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	2.1%	1.1%	4.2%	1.9%	0.7%	5.2%	5.2%	13.0%	2.1%	5.3%	37.2%	7.6%	19.7%	3.5%	75.4%	2.0%	0.9%	3.2%
宿泊	3.0%	3.5%	4.6%	4.6%	15.2%	8.3%	32.7%	7.9%	2.9%	7.1%	3.1%	21.0%	1.2%	2.9%	10.0%	5.3%	2.2%	0.8%	22.4%	6.7%	4.3%	6.3%
計	0.7%	0.7%	0.8%	0.8%	2.9%	1.6%	6.1%	2.3%	0.9%	5.4%	5.0%	13.6%	2.0%	5.2%	35.4%	7.5%	18.5%	3.4%	72.0%	2.3%	1.1%	3.4%

- ・日帰り観光客は近畿圏からの来訪者が75.4%を占め、最も多いのが大阪府の37.2%、次いで奈良県内の19.7%、兵庫県内の7.6%。
- ・宿泊観光客は東京圏がトップの32.7%を占め、次いで近畿圏の22.4%。(参考:平成26年値 東京圏33.7%、近畿圏23.6%)

※回答が少数の道・県は、地域ブロックにまとめています。端数は小数点第2位以下を四捨五入しているため、小計、計とは一致しません。

地域ブロック	都道府県						
北海道・東北	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県
北関東	茨城県	栃木県	群馬県				
その他中部	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県

地域ブロック	都道府県								
中国・四国	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県
九州・沖縄	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	

## 調査対象・推計方法

### 調査対象

- ・「観光地点」及び「行祭事・イベント」

観光地点については次の①～③に掲げる要件の全てを満たすもの、「行祭事・イベント」については②及び③の要件を満たすものを集計対象とする。

- ①非日常利用が多い(月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満)と判断される地点であること。
- ②観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
- ③前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が5千人以上であること。(なお、調査年の途中で、観光入込客数が上記の要件を満たすこととなった観光地点が新設された場合は、集計の対象とする。)

### 推計方法

- ①「観光地点等入込客数(延べ人数)調査」

四半期ごとに市町村が観光地点の管理者や行祭事・イベントの運営者に入込客数を調査し、県が集計する。

- ②「観光地点パラメータ調査」(サンプル調査)

県内10箇所の観光地点において四半期ごとに、層性別の構成比(観光目的、ビジネス目的、訪日外国人、県外客、県内客、宿泊客、日帰り客等)、訪問地点数、観光消費額単価等についてアンケート調査を行う。

- ③上記の①及び②の調査で得たデータを基に、観光入込客数(実人数)、観光消費額を推計する。